

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可 ・  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 屋根葺き	(ふりがな) やねふき	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	屋根葺き		
伝承地域	只見町 (奥会津地方一円)		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 不明		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 茅葺屋根は、日当たりや日陰など場所により傷みが異なり、3年から5年毎に「挿し茅」と言って古い茅の中にあたらしい茅を挿して補修した。約20年に1度、「丸葺き」といって全部新しい茅に葺き替える。 屋根葺きは、屋根葺き職人を中心に近い親類、隣人など村内の手伝いを受けて行い、茅や縄などの提供も受ける。		
文化財等の指定状況			
問い合わせ先	只見町教育委員会	電話	0241-82-5320

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	.....		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵
	性別・年齢	男 ・ 女	歳	
	生年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日 生	
	住所・電話	〒 電話		
団体	職業			
	団体名 (ふりがな)	.....		
	代表者氏名 (ふりがな)	.....		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
問い合わせ先			電話	

## 【フリーフォーマット】

キーワード

### <茅刈り>

材料の茅は、集落ごとに共有の茅場を止め山として温存しておく。秋、集落ごとに茅刈りを行う。

茅野の多いところは、参加した者の刈り勝ちで自分の屋根用に使用したり屋根を葺く人に売り分けたりする。茅野の少ないところでは、村中で刈って屋根を葺く人が輪番で使用した。

### <屋根葺き巻物>

屋根葺き職人は、親方と呼ばれる職人のもとに弟子入りし技術を習得する。そして、一人前として認められた時に、親方から「屋根葺き巻物」が伝授される。「屋根葺き巻物」には、屋根葺きの神の由来や系譜、グシ祭りの方法やそのときの祝詞等が記されている。



屋根葺き巻物（只見町教育委員会）



屋根葺き作業（只見町教育委員会）